



ロータリー：
変化をもたらす

【第2530地区活動目標】

- 1.各クラブへのサポート強化
- 2.人道的奉仕の重点化と増加
- 3.ロータリー公共イメージと認知度の向上
- 4.RI会長賞に挑戦しよう
- 5.ロータリー財団への協力
- 6.米山記念奨学会への協力

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 鈴木邦典
 ガバナー補佐 佐藤吉弘
 会長 佐藤真也
 幹事 菅野浩司

四月は母子の健康月間

2017~2018年度 ◆ 例会日/木曜日12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋

RI会長 イアン H.S.ライズリー 事務局/〒960-0282 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 Fax(024)542-3604

サンドリンガム・ロータリークラブ(オーストラリア)

通算

第35回 [2910] 例会報告 平成30年(2018)4月5日(木)

出席委員会報告

会員総数	38名
出席会員	28名
欠席会員	10名
出席率	73.68%

言行はこれに照らしてから

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうか

◆開会点鐘 佐藤真也 会長

◆国歌斉唱 ◆ロータリーソング [奉仕の理想] 村田安啓 会員

◆四つのテストの唱和 斎藤孝裕 職業奉仕委員長

◆お客様紹介 〆 J Aふくしま未来事故センター 課長 宍戸吉弘 様

◆会長あいさつ



今日はゲストスピーカーとして J Aふくしま未来事故センターより宍戸様にお越しいただいております。お忙しい中、ありがとうございます。今日は例会時間に変更されておりますが、吉川屋さんの中に「せせらぎの杜ダイニング燈花」というお食事処が新規オープンされ、個室タイプの素敵な会場だということで、皆さんにお披露目したいというお申し出がありましたので、今日のお食事は例会終了後に会場を移動しまして、そちらで召し上がっていただきます。宜しくお願いいたします。



松崎新会員へバッチと四つのテストの贈呈

よいよ迫って参りました。まもなく来賓の皆様へ招待状の発送を行う予定です。来週の例会は60周年記念準備会議とさせていただきますので、来週の例会は、皆様くれぐれもご出席お願いいたします。ひとつだけ、皆様にPRをさせていただきたいのですが、1月の生酒の発売時にも皆様にご協力を賜りましたが、この純米吟醸摺上川のお酒は、当クラブの安齋忠作バスト会長と私が中心になって飯坂の地酒を造ろうということで田植えから始め、今年モンドセレクション金賞4年連続受賞しました摺上川の水は西根堰を通過して東湯野地区を潤しておりますが、そこでお米を栽培しまして、福島市唯一の酒蔵である金水晶酒造店さんと醸造し作り上げた“ALL福島市”の地酒です。今回、火入れをしまして改めて販売させていただきます。スッキリした飲み口ですのでぜひご購入していただき、皆様にお勧めしていただきたいと思っております。宜しくお願いいたします。

◆幹事報告 菅野浩司 幹事

A. 月信 「ロータリーの友」4月号 「ガバナー月信」4月号 No.10

B. 来信

①ガバナー 鈴木邦典 氏より
 「2018-2019年度地区研修・協議会開催の案内」
 と き、5月19日(土) 10:20~16:00予定 義務出席者
 ところ、パルセいいざか
 分区会会場 パルセいいざか
 摺上亭 大鳥

②県北第二分区ガバナー補佐 佐藤吉弘 氏より
 「県北第二分区IMの案内」 と き、5月12日(土) 16:00~
 ところ、ホテル辰巳屋

2018-2019年度
 会長、幹事、クラブ戦略計画、公共イメージ
 会員増強、職業奉仕、奉仕プロジェクトグル
 ープ(社会、国際、青少年交換 各委員会)
 青少年奉仕、RI財団、米山記念奨学会

◆スマイリングBOX 諸根敏之 委員長 【合計3-53】

- | | | |
|---------|-----|--|
| 畠 隆章会員 | 2 J | せせらぎの杜ダイニング「燈花」が完成しました。本日はぜひお試下さい。 |
| 吾妻 一夫会員 | H | ゲストスピーチ宍戸吉弘様を迎えて 吉川屋さんのダイニング燈花のオープンを祝し 食事を楽しみにしています。 |
| 西山 友幸会員 | H | 新入会員オリエンテーション出席してきました。お世話になりました。ありがとうございます。 |
| 大内 勝行会員 | H | 今日のダイニング燈花 新築オープンおめでとうございました。 |
| 佐藤 真也会員 | S | 宍戸吉弘様をゲストスピーカーにお迎えして |
| 安齋 忠作会員 | S | 宍戸吉弘様をお迎えして |
| 村上 裕司会員 | S | ゲストスピーチ J A事故センター課長宍戸様をお迎えして 本日の楽しみにしております。 |
| 斎藤 孝裕会員 | S | 先月夜の例会欠席おわび 本日の昼食、楽しみにしております。 |
| 村田 安啓会員 | T | 先週の夜間例会の二次会で大変お世話になりました。 |
| 小笠原尚史会員 | T | 欠席おわび |
| 松崎 義将会員 | T | 先日の夜間例会は皆様にご迷惑をおかけしました。今後とも宜しくお願い致します。 |

◆ ゲストスピーチ



J Aふくしま未来事故センター 課長 宍戸吉弘 様

本日はスピーチということですが、年度初めに、ましてや桜が満開の時、諸先輩方前にして若輩者がスピーチをさせていただきますこと、大変感謝しております。本日はJ Aのお話をさせていただきたいと思いますが、その前に私の自己紹介をさせていただきます。私は前回の東京オリンピックが行われた前の年に生まれました。福島生まれ、福島の小中高を出て、4年ほど違う所におり、その後、福島のJ Aに入り、嫁をもらって子供を育てて現在に至ります。J Aに入りまして33年目になります。本日のスピーチをお引受けして、今回とても多くを学びました。ロータリーとは何だろうとか、J Aについても、もう一回振り返って勉強させていただきました。一つ思ったことは、私は消防団で役職をもらっておりますが、ロータリーさんで表彰されたりということもあって、色々な奉仕活動をされている団体だと思いました。飯坂ロータリークラブさんについて時計塔の贈呈式等を新聞で拝見し、60周年という機会に私がお話出来るのも大変ありがたいことだと思っております。

では、J Aグループについてですが、簡単にいうと農業協同組合です。組合員のゆりかごから墓場まで面倒を見るという組織です。相互扶助の精神の下に、農家の生活を守って、良い生活を実現するための組織です。正式名称は農業協同組合ですが、今はJ Aというニックネームを使っております。農協というと、昔のマークの農協を思われると思いますが、平成4年以降はJ Aマークになりました。今は生命産業だと言われており、イメージ的には少しは良くなったかなと思っております。J Aには、専門農協と総合農協の2つがあります。総合農協は貯金や共済、経済を含め全て取り扱っております。専門農協は果樹だけやるとか、信用だけやるとか、単一的な部分の農協です。この辺ではだて果実農協が専門農協です。福島県には今5 J Aしかありません。J Aの組織には全国の組織と都道府県ごとの組織があります。全国の組織にはJ A全中、県の中央会が集まった指導機関があります。J A全農は農産物の生産から販売まで手掛けます。全農になりますと、肥料の輸入や海外との取引があり、色々な海外の知識が無いと出来ない組織です。貯金の部類は農林中央金庫という部分です。あとはJ A共済連という部分で、全国農協共済協同組合では共済を手掛けております。あとはJ A全厚連があります。これは病院の方の医療関係を行っている全国の組織です。これが5つあって福島県では農協五連と言われております。県単独では中央会と厚生連です。どんな事業を行っているのかというと、指導事業、経済事業、信用事業、共済事業、厚生事業を行っております。ゆりかごから墓場まで、生活に密着した事業が出来ているのかなと思っております。福島県には5 J Aあると申しましたが、ふくしま未来と郡山、いわきの福島さくら、夢みなみ、会津よつば、東西しらかわの5つのJ Aがあります。農協は組合員がいて組合員の資格を持った方々で運営します。組合員についても、正組合員と準組合員がおりまして、正組合員は農業者です。準組合員については、農業者ではなくても農協を利用したいという方々であれば、出資金をいただいてJ Aの運動が出来ます。出資金は1口千円から準組合員になれますので、皆様もご利用いただきたいと思います。

農協にも様々な問題があり、規制改革等で色々と言われております。その危機を脱しなければいけないと言われながら、現在の状況では3つほどあります。一つは「農村の危機」です。農業者の高齢化や生産基盤の縮小による危機です。二つ目は「地域の基盤の弱体化」です。事業の伸び悩み、組織と事業経営の危機があります。三つ目は自分さえ良ければという風潮による「協同組合の根源的な危機」があります。これは直ぐに克服出来ることではありませんが、そういった部分を解決していかななくてはならないと思っております。震災があって農業が出来ないという地域が出てきて、これは大変だろうという部分があり、福島もそうですが、相馬の方では農業が出来ないという所がありました。それを救っていこうという部分で合併し、12市町村にまたがる広域なJ Aになりました。J Aでは貯金にしる共済にしる、国内での部分しか扱えません。普通の銀行ですと外為が出来ますが、うちは内為オンリーです。共済も国内でしか対応出来ません。そういう規制があるのがJ Aです。私がおりますのは共済の部分で、事故をまかされております。27年度には事故件数が53万件ほどありました。実際の車両単独は3%しかありませんが、自損事故の場合は警察に届けられない方が多いので、もっと件数はあります。うちの支払いの件数は28年度では9954件となっておりますが、自動車共済の保有件数は9万5000件ほどあります。支払いが22億8000万円ほど共済金としてお支払いさせていただきました。おかしなもので事故件数からいくと9%弱の方が事故率8~9%です。10年もすると皆さん一回は事故を起こしたことに単純計算ではなるのですが、事故を起こしたことも無いという方もいらっしゃいますので、これは事故を起こす人は何回も起こすということになってきます。無事故で20年30年表彰される方もおりますが、事故のリピーターの方が大変多いので、皆さんも気を付けていただければと思います。また、今は高齢者の事故がたくさんあります。事故は起こすと時間的な損失、経済的な損失が発生します。明日から春の交通安全運動が始まります。皆さん運転にはくれぐれもご注意ください。ご清聴ではありましたが、私のスピーチとさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

◆ 閉会点鐘 会長

せせらぎの杜イニング 燈花

